

日本図書館研究会情報組織化研究グループ 2009年10月月例研究会

情報知識学会関西部会が後援する研究会が開催されますので、お知らせいたします。なお、この研究会の発表者は当学会会員の五島敏芳氏らです。

論 題：EAD、EAC、EAG、そして DACS：アーカイブズ情報の共有・
交換は実現するか

発表者：五島敏芳氏（京都大学総合博物館）、坂口貴弘氏（国文学研究
資料館）

日 時：10月17日（土）14:30～17:00

会 場：大阪市立浪速人権文化センター 5階集会室 2

大阪環状線芦原橋駅下車、南出口を出てすぐ。郵便局西隣。

大阪市浪速区浪速東 1-9-20 TEL：06-6568-0791

概 要：日本の文書館世界では、1990年代以後、アーカイブズの記述の
国際標準について活発に議論されてきた。しかし、それら国際
標準を実現するためのデータ構造の標準やデータ内容の標準
は、議論が進んでいない。前者のデファクト標準の例に、EAD・
EAC・EAGをあげることができ、アーカイブズの情報検索システ
ムの背後で動く存在として、じつは定着しつつある。後者は、
アーカイブズのための目録規則とも言えようが、日本では適切
に対応する存在がない。DACSはアメリカ国内標準で考察の好例
である。これらの概要を紹介したい。

後 援：情報知識学会関西部会、記録管理学会

参加費：300円（含、飲み物代）